ユング心理学研究会　2013 年（前期）テーマ　『ココロとカラダの深層世界』

演題：『演じる肉体(身体的行動と心の声)』

日時：５月１６(木)　１９：００～２１：００

会場：中野区勤労福祉会館

講師：近童弐吉（俳優）

《講義とワークショップ》60 分

・演じる肉体

・身体的行動と心の声

・無意識に演じる

・その動機

・情動、あるいは、情緒

・生理的反射作用と心理・身体的行動

・感情

・仮面

・心と身体の解放

・感受性の扉を開く

・気の流れ

・意志と目的

・複数の心理

・感情の認知あるいは伝染

《休憩》　10 分

《近童弐吉による演技（解説つき）》　『リア王』　10 分

《質疑応答》30 分

講師：近童　弐吉

・俳優　1959 年 9 月生まれ。愛知県出身。唐十朗率いる状況劇場を経て、劇団新宿梁山泊の旗揚げに参加。90 年からは主演俳優となり、多くの海外公演も含め参加。98 年にフリーとなり、劇団外の大・小さまざまな芝居に出演。同時に、TV・映画にも進出。2008 年文化庁の支援で、日本人で初めてモルドバ共和国(東ヨーロッパ)に演劇留学。同国国立劇場で演出補を務めた。

・舞台：ベクター、帝国心の毒、ええじゃないか、森の石松、沈黙の王　他多数

・TV：三番テーブルの客(主演)、利家まつ(本田忠勝)、相棒、水戸黄門　他多数

・映画：死にゆく妻との旅路、夜を賭けて　他

演題：『演じる肉体(身体的行動と心の声)』

【用語解説】

● ジェームズランゲ - せつ 【ジェームズランゲ説】

《 James-Lange theory 》アメリカの心理学者ジェームズ（W.James）とデンマークの心理学者ランゲ（C.Lange）とによって、1884～1885 年の同じころ唱えられた情動の本質についての説。刺激→情動→身体変化ではなく、刺激→身体変化→情動という道筋を考えたもの。「悲しいから泣くのではなく、泣くから悲しい」という表現で象徴されている。

● 情動

〈情緒〉ともいい，英語では emotion。感情の一種。急激に発生しおおむね短時間で消滅すること，またきわめて激しい心身の変化を伴うことによって，継続的かつ微弱な感情である気分とは区別される。（百科事典マイペディアの解説より）

● 感情

〈気持〉〈心持〉のような，人間の心理状態の受動的で主観的な側面をいう。感情には，〈明るい気分〉〈けだるい気分〉〈気分が良い･悪い〉と言われる場合の気分のように，身体の生理的状態の意識への反映と思われる微弱だが持続的なものから，漠然とした快･不快感，激しい欲情や嫌悪感，〈躍り上がって喜ぶ〉とか〈涙を流して悲しむ〉といった身体的表出をともなう激しい情動，ある種の欲望に似た強く持続的な情熱，さらに宗教的感情のようなある種の価値への畏敬の感情にいたるまで実に多様な心的状態が含まれる。

● 衝動

人の心に働きかけて行動に駆り立てる刺激のこと。その起源はその人の身体に由来することも，意識的･無意識的な心に由来することも，また外界の刺激によることもある。衝動のうち，身体的なものが心に感じられるものを狭く『欲動』という。また，『本能』の語が，衝動と同義に用いられる場合と，動物に遺伝的にプログラムされている生得的行動図式を指す場合とがある。衝動が，意志や理性による統御や加工を経ることなしに，そのまま行動として外界に現れてしまうのが〈衝動行為 impulsive action〉である。（世界大百科事典 第２版の解説より）

● 動機　どう - き 【動機】

１ 人が意志を決めたり、行動を起こしたりする直接の原因。「犯行の―」「タバコをやめた―」
２ 《 motive 》心理学で、人間や動物に行動を引き起こし、その行動に持続性を与える内的原因。
３ 倫理学で、行為をなすべく意志する際、その意志を規定する根拠。義務・欲望・衝動など。
４ ⇒モチーフ２（デジタル大辞泉の解説より）

● 心理

１ 心の働きやありさま。精神の状態。「複雑な―」「深層―」
２ 「心理学」の略。（デジタル大辞泉の解説より）

● 意志　い - し 【意志】

１ あることを行いたい、または行いたくないという考え。意向。「参加する―がある」「こちらの―が通じる」
２ 目的や計画を選択し、それを実現しようとする精神の働き。知識・感情に対立するものと考えられ、合わせて「知情意」という。「―を貫く」「―強固」
３ 哲学で、個人あるいは集団の行動を意識的に決定する能力。広義には、欲望も含まれる。倫理学的には、道徳的判断の主体あるいは原因となるものをいい、衝動と対立する。
○ ［用法］ 意志・意思――「意志」は「意志を貫く」「意志の強い人」「意志薄弱」など、何かをしよう、したいという気持ちを表す場合に用いられる。哲学・心理学用語としては「意志」を用いることが多い。
◇「意思」は、「双方の意思を汲(く)む」「家族の意思を尊重する」など、思い・考えの意味に重点を置いた場合に用いられる。法律用語としては「意思」を用いることが多い。
◇「意志（意思）の疎通を欠く」「意志（意思）表示」などは、話し手の意識によって使い分けられることもある。（デジタル大辞泉の解説より）